

大連 IT クラブ in 東京(第 1 回目) 議事録

この度「大連 IT クラブ in 東京 (第 1 回目)」を開催致しましたので、概略を議事録として送付致します。

1. 幹事会社：日経 BP 社 (取りまとめ： 上村 健之 技術情報販売部次長)

2. 日時：2013年10月8日 (火)

受付開始 6:15~ 開始、終了 6:30~8:00

3. 場所：日経 BP 社本社ビル4階講堂 (港区白金1丁目17番3号 NBF プラチナタワー)

4. 出席者：24名 (氏名は省略)

5. 内容：

(1) 趣旨説明、挨拶：何徳 倫 会長

- ① 日中は、政冷の状態に有るが、経済の結びつきは強い。
- ② この大連 IT クラブが中心になって、進めていければと思っている。

(2) 大連 IT クラブの歴史の紹介：牛島五郎名誉会長

- ① 2002年以降2ヶ月に1回の頻度で開催していますが、会議の外にネットで、お互いに情報交換をしている。
- ② また、毎回幹事を決め、ボランティアでやっているのが特徴。

(3) 最近の大連の状況：三上吉彦副会長

- ① ハルピン~大連高速鉄道 ②大連地下鉄・202路延長線 ③万達広場 ④大連東港と大連現代博物館
- ⑤全国運動会 ⑥瀋陽

の懐かしい話題を、写真を中心に紹介いただきました。

(4) ご講演：川端望 東北大学経済学研究科 教授

「大連市におけるソフトウェア・情報サービス産業形成から何を学ぶか」

概要： 大連市におけるソフトウェア・情報サービス産業は、市場経済化、政府の政策的誘導、地場企業と外資系企業の果敢な行動、大学を含む様々な制度、頭脳循環という様々な要因がタイミングよく組み合わせられて生まれた。その構造と過程から何を学んだらよいかを考えます。

- ① ソフトウェア・情報サービス産業振興策の策定
- ② 産業形成のプロセス
- ③ 産業形成を支えた豊富な人材

という順序でお話をされ、最後は、今後の日本と大連の進む方向の示唆、問題点もご提示頂きました。

(5) 幹事会社からの紹介

日経コンピュータ グローバル人材育成プログラム

ブリッジPM・SE育成&クロスカルチャー見聞：現地講座&視察ツアー

(6) 各自の自己紹介

(7) 連絡事項

- ① 次回幹事会社は、日本能率協会コンサルティング (JMAC) (高橋 豊氏)
- ② 時期は、2014年2月7日 (金)
- ③ 場所は、日本能率協会コンサルティング講堂

6. なお、何徳倫 (会長) 著「大連は燃えている」、谷口恵 (副会長) 編「我在中国的日子」、三上吉彦 (副会長) 著

「大連の春」の展示即売会も合わせて、行いました。

さらに、懐かしい「Whenever大連」10月号を斉藤実敏さんが10部持ってきて頂きました。

大連ITクラブの10周年記念CD (牛島さんが提供) も展示致しました。

7. 会計報告

入場費各自千円で、出席者24名ですので、収入2万4千円也です。

今回会場は、日経BPさんのご好意で、無料でお借りできましたので、全額次回以降の資金と致します。

その後（8：00～）近くのレストラン「インドール」で懇親会（希望者のみ）を行いました。

出席者は、24名でした。

<写真貼付>

① 全体写真



②川端先生のご講演



文責：加治進（2013.10.23.）

—以上—